



栗田英治 (KURITA, Hideharu)

主任研究員

博士 (環境学)

- 1976 愛媛県生まれ (大阪育ち)
- 2001 筑波大学大学院環境科学研究科 修了
- 2002 農業工学研究所採用 景域研究室配属
- 2006 農研機構農村工学研究所 景域整備研究室
- 2011 農村基盤研究領域 資源情報担当

(受賞歴)

- 2007 農村計画学会ポスター賞



研究者の横顔

<専門分野と研究テーマ>

人と土地との関係をデザインするランドスケープが専門。現在は、地理情報システム (GIS) や航空写真・衛星画像解析などのリモートセンシング等を用いて、耕作放棄地などの問題が深刻化する農地等の地域資源の保全・管理に関わる研究・開発に取り組んでいます。



写真1：十日町市峠地区の棚田

<研究生活>

パソコンの画面に向かい、地理情報システムなどを用いて、地域の資源の解析を行い、解析の結果を手に現場に足を運び、農家や地域住民の方に話を聞き、現地で得た情報を持ち帰り、また、パソコンに向かう・・・を繰り返す日々です。現在は、豪雪地域として有名な新潟県十日町市で調査を行っていますが、北は北海道から南は九州・鹿児島まであちこちの農村を訪ねています。

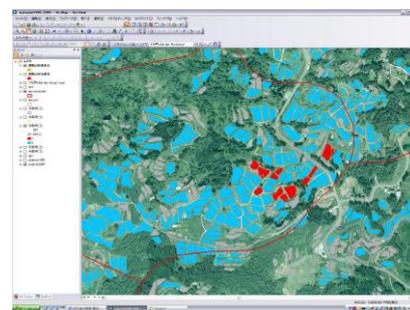


写真2：日々、こんな画面と向き合っています

<好きなもの>

大学入学までの18年間を大阪・淀川の畔で過ごし、山陰・鳥取で4年間学び(遊び?)、大学院の時から筑波山の麓に来ました。関西にいた頃は、それほど意識することはなかった大阪愛が関東に来て目覚めてしまった感じで、関西出身の方に会うと嬉しくなってしまいます。プライベートでは、日本酒、日本茶、手ぬぐい、風呂敷、朝顔など、和の香りがするものをこよなく愛します。日本酒も好きなのですが、最近はなかなか飲める機会がないので、いつでも飲める日本茶にはまっています。研究室を訪ねて頂ければ、お薦めの日本茶をお煎れしますので、ご遠慮なくお訪ね下さい。

写真3：節電の夏はこの二つの和のアイテムで凌ぎました

